

医療的ケア児等が抱える課題は多分野にわたっており、必要なサービスも多岐にわたっています。医療的ケア児等コーディネーターは、保健、医療、福祉、子育て、教育等の必要なサービスを総合的に調整し、医療的ケア児とその家族に対しサービスを紹介するとともに、関係機関と医療的ケア児等とその家族をつなぐ役割を担っています。（例：退院支援・サービスの利用調整・家族支援・相談事例の対応・協議の場への参加・地域における課題整理・関係機関等との連絡調整等）北海道では、医療的ケア児等の支援に携わる方々（予定を含む）を対象に、医療的ケア児等コーディネーターを養成するための研修を開催します。

* 本研修は、医療的ケア児支援のために必要な基礎知識、利用できる支援、関係機関との連携等について習得するものであり、相談支援専門員研修やたん吸引等の実技を行うための研修ではありません

対象者 道内在住の相談支援専門員、保健師、訪問看護師その他の職種等で、地域においてコーディネーターの役割を担う者（予定を含む）

< 研修日程 >

オンデマンド受講 **オンライン (YouTube限定配信)**

令和5年
1 / (金) **20** ~ 1 / (火) **24** 左記期間中に限定配信される講義動画150分を視聴いただきます

講義 1日目 **オンライン (Zoom)**

1 / (水) **25** 9:00 ~ 17:00 Zoomで開催する講義にオンラインで参加いただけます

※8:30-9:00 接続テスト：Zoom接続に不安のある方対象（任意参加）

講義 2日目 **オンライン (Zoom)**

1 / (金) **27** 9:00 ~ 17:00 Zoomで開催する講義にオンラインで参加いただけます

演習 1日目 **オンライン (Zoom)**

2 / (水) **1** 9:00 ~ 17:00 Zoomで開催する演習にオンラインで参加いただけます

演習 2日目 **会場集合**

2 / (金) **3** 9:00 ~ 17:00 札幌駅周辺で開催する演習に下記の会場にて参加いただけます

会場

かでのる2・7 4階 大会議室

北海道立道民活動センター（札幌市中央区北2条西7丁目）

○ 所定のExcelの申込書に入力の上、下記事務局宛てメールで提出してください

▶ 事務局：医療法人稲生会 ☎ 011-685-2799

▶ メール：toseikai@kjnet.onmicrosoft.com

□ 申込書は、下記URLに掲載しています

▶ URL：https://mcc-hokkaido.net

（北海道医療的ケア児等支援センターホームページ）

令和4年度

北海道
医療的ケア児等
コーディネーター

養成研修

申込期限

令和5年
1 / (金) **6** 必着
12:00

受講定員

60名

定員を超える申込があった場合選考により決定します
詳しくは裏面<ご留意事項>をご覧ください

受講料 無料

研修受講に伴う通信費、交通費、滞在費等は、受講者（所属する法人を含む）の負担となります

<ご注意事項>

1 お申込みにあたり

- ① 修了証書発行には全講義の修了が必要となります。改めて講義日程のご確認をお願いいたします
- ② お申し込み後、一両日中に受付確認メールが送信されます。メールが届かない場合、メールアドレスが正しく入力されていない可能性もありますので、事務局までご連絡ください
- ③ 受付確認メールは受講を承認するものではありません。受講可否については、令和5年1月13日以降に「**受講選考結果**」をメールで通知いたしますので、そちらをご確認ください
 なお、受講定員を超える申し込みがあった場合は、下記事項等を総合的に勘案し、選考により受講者を決定します
 ア 同一事業所内での申込み人数
 イ 申込者の地域における活動状況（市町村の自立支援協議会等への参画等）及び今後の活動予定
 ウ 地域におけるコーディネーターの人数

2 オンライン研修

- ① 研修中の録画/録音/写真撮影/携帯電話等の使用、資料及び事例の公開/漏洩/二次利用はお断りします。著作権や肖像権等に抵触する場合がありますので十分ご注意ください
- ② オンラインでの研修受講に必要なパソコン等の設備やネットワーク環境については、受講者でご準備ください。また、受講の際は研修や演習等に集中できる環境で受講してください
- ③ オンラインでの講義/演習は、WEB会議「zoom」を利用して開催いたします。パソコン、タブレットで参加することができます。研修に合わせて事前にアプリケーションをダウンロードし、音声やカメラの確認をお願いいたします。また、申込者以外の視聴はご遠慮ください
- ④ オンラインでの受講中は、受講状況を確認するため常時受講者の映像が確認できるようにビデオをオンの状態にしておいていただきますようお願いいたします

3 研修テキスト

- ① テキストは、各講師が作成する資料とします。
- ② その他、下記の書籍（2冊）を参考図書としますので、受講者での準備を推奨します
 ア 医療的ケア児等支援者養成研修テキスト（中央法規出版）
 イ 医療的ケア児等コーディネーター養成研修テキスト（中央法規出版）

4 演習2日目

駐車場は用意しておりませんので、可能な限り公共交通機関をご利用ください

<研修内容>

*医療的ケア児等コーディネーター養成研修修了者

日程	科目	内容	講師/報告者 (敬称略)	所属	資格
1/20 (金) ~ 1/24 (火)	総論	①医療的ケア児等の地域生活を支えるために ②医療的ケア児等コーディネーターに求められる資質と役割	土島 智幸	医療法人稲生会理事長 北海道医療的ケア児等支援センター長	医師
	福祉	①支援の基本的枠組み ②福祉の制度	高波 千代子	医療法人稲生会 相談室あんど 北海道医療的ケア児等支援センタースタッフ	社会福祉士
1/25 (水)	医療	①障害のある子どもの成長と発達の特徴 ②疾患の特徴 ③生理 ④救急時の対応	新生児～乳幼児期 長屋 建	国立大学法人 旭川医科大学病院 新生児科 周産母子センター センター長	医師
		⑤日常生活における支援 ⑥訪問看護の仕組み	学童～移行期 田中 藤樹	独立行政法人国立病院機構 北海道医療センター 小児科医長/小児慢性特定疾病・在宅・移行期医療支援センター長	医師
	本人・家族の 思いの理解	①本人・家族の思い ②意志決定支援 ③ニーズアセスメント ④ニーズ把握事例	佐藤 知哉	社会福祉法人 静内ベテカリ 支援者応援センターからふる 係長	作業療法士*
	福祉	③家族支援 ④虐待	奥瀬 明博	社会福祉法人 函館厚生院 函館中央病院 総合医療支援センター こども子育て支援室 主任	看護師/社会福祉士
		⑤遊び・保育	藤井 三四郎	社会福祉法人 ソルウエイズ 重症児デイサービス ソルキッズ 管理者	保育士/幼稚園教諭 児発管/介護福祉士*
1/27 (金)	ライフステージ における支援	①医療的ケアの必要性が高い子どもへの支援 ②NICUからの在宅移行支援 ③各ライフステージにおける相談支援に必要な視点 ④児童期における支援 ⑤学齢期における支援	氣田 貴美 目黒 祐美子	社会医療法人 母恋 天使病院 NICU病棟 主任 医療法人稲生会 相談室あんど 北海道医療的ケア児等支援センタースタッフ	看護師* 社会福祉士*
	支援体制整備	①支援チーム作りと支援体制整備/支援チームを育てる ②支援体制整備事例 ③医療、福祉、教育の連携 ④地域の資源開拓・創出の方法	梅坪 光 清末 有二	八雲町子ども発達支援センター 支援係 主査 芽室町教育委員会 教育推進課 課長補佐	保健師* 行政職員
		計画作成の ポイント	演習に向けた計画作成のポイント	山田 幸広	社会福祉法人 北翔会 相談室あゆみ 主任相談支援専門員
	木村 直樹			社会福祉法人札幌緑花会 大倉山学院 地域支援室 主任	看護師*
伊西 夏恵	医療法人稲生会 相談室あんど 管理者 北海道医療的ケア児等支援センタースタッフ			作業療法士/社会福祉士	
2/1 (水)	演習 (計画作成)	事例をもとにした計画作成の演習		医療的ケア児の支援事例をもとに、グループごとに事例を掘り下げ、計画を作成し、模擬担当者会議等の演習を行う予定です。[オンライン (Zoom)]	
2/3 (金)	演習 (事例検討)	事例をもとに、意見交換 (グループディスカッション) ・スーパーバイザーによる計画作成の指導		医療的ケア児の支援事例に対し、スーパーバイザーによる計画作成の指導をもとにグループディスカッション等を行い、各グループの計画内容を発表いただく等の演習を行う予定です。[会場集合]	